

平成二十七年 度（二次入試）

国語

（検査時間 十時四十分～十一時三十分）

注意事項

一、開始の合図で

- ◆ 解答用紙、問題用紙、下書き用紙の所定の欄に受験番号を書き入れなさい。
- ◆ 解答はすべて解答用紙の所定の欄に書き入れなさい。
- ◆ 問題文は十ページあり、その順序は

 ～

 で示しています。
ページ漏れや印刷不鮮明などに気づいた場合には、手をあげなさい。

二、終了の合図で

- ◆ 机の上に、下から順に問題用紙、下書き用紙、解答用紙を置きなさい。
解答用紙だけは裏返して置きなさい。

受験番号

【一】 次の問一～問三に答えなさい。

問一 次の(1)～(5)の——線について、カタカナの部分の読みをひらがなで書きなさい。漢字の部分の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 毛糸で手袋をアむ。
- (2) 大会のマクが開く。
- (3) カンゲキ会でのマナーを守る。
- (4) 家計の出費を抑える。
- (5) 将来を囑望された青年。

問二 次の——線の漢字を楷書で書いた場合の総画数と、楷書で書いた場合に総画数が同じになるものを、後のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

新緑

ア 簡 イ 漁 ウ 推 エ 談

問三 第三中学校の生徒会では、地域住民とのふれあいソフトボール大会を企画した。次は、作成した【ポスターの原案】、それについて出された意見を書いた【付箋】である。これらを読んで、後の(1)、(2)に答えなさい。なお、答えに字数制限がある場合は、句読点や「」などの記号も一字と数えなさい。

【ポスターの原案】

秋季ふれあいソフトボール大会
第三中学校生徒会

- 1 期日
平成 27 年 10 月 10 日 (土)
- 2 場所
第三中学校グラウンド
- 3 当日の流れ
受付 8:30～9:00
開会式 9:00～9:15
試合開始 9:30～
- 4 その他
・地域の方ならどなたでも参加できます。
・詳細は学校ホームページを
拝見してください。



〔※本ページ下段に続く〕

【付箋】

雨天の場合に、延期をどのようにして知らせるかを書いてはどうか。

雨が降ったら一週間後に行われることを書いた方がよい。

「3 当日の流れ」に受付の場所を示したり、学校内の地図を載せたりして参加しやすくする。

「拝見する」では地域の方への敬意を表すことができない。

削除した方がよい項目や内容はない。

(1) 【付箋】に書かれた意見が踏まえてポスターを書きなおす場合、その内容として当てはまらないものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 「1 期日」に「雨天の場合は、10月17日(土)に延期します。」と追加する。

イ 「2 場所」の横の余白に「第三中学校までの経路を示した地図」を挿入する。

ウ 「3 当日の流れ」の箇所の記載を「受付(北校舎玄関前にて)」と修正する。

エ 「4 その他」に「延期の場合は、朝7時に正門前に掲示します。」と追加する。

(2) ——線に対する意見が書かれた【付箋】の——には、「拝見する」をどのような表現に書きなおすかを説明した次の一文が入る。
() に当てはまる言葉を、尊敬語、謙譲語という言葉を使って、三十文字以内で書きなさい。

「拝見する」は ()

【四】 次の漢詩は、江戸時代後期の漢学者である草場佩川のものである。これを読んで、後の問一～問四に答えなさい。なお、答えに字数制限がある場合は、句読点や「」などの記号も一字と数えなさい。

山 行 示 同 志

路 入 二 羊 腸 滑 石 苔

風 従 鞋 底 掃 雲 廻

登 山 恰 似 書 生 業

一 歩 歩 高 光 景 開

（「佩川詩鈔」から）

（注） * 石苔——石の上に生えた苔。

* 風従鞋底掃雲廻——風は足下から吹き起り、雲をはらうようにして山肌を吹きめぐる。

* 恰似書生業——ちょうど学生が勉学に励むことに似ている。

〈書き下し文〉

山行同志に示す

路は羊腸に入つて石苔滑らかに

風は鞋底よりして雲を掃つて廻る

山に登るは恰も似たり書生の業

一歩歩高くて光景開く

問一 この漢詩の形式を漢字四字で書きなさい。

問二 線に、書き下し文の読み方になるように返り点をつけなさい。

問三 線①について、山道の様子を説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 山道は広く緩やかで、石の上の美しい苔が心をなごませる。
イ 山道は行き止まりになっており、辺りに苔むした石がある。
ウ 山道は日当たりがよく、石に生えた苔がきらきら光っている。
エ 山道は曲がりくねり、石の上の苔ですべりやすくなっている。

〔※本ページ下段に続く〕

問四 ゆみさんは、この漢詩をもとにスピーチをした。次は、その【原稿】である。これを読んで、後の(1)～(3)に答えなさい。

【原稿】

皆さんは、「Ⅰ」ということわざを知っていますか。私がこのことわざに注目したのは、漢詩「山行同志に示す」の「一歩歩高くて光景開く」に魅力を感じたからです。この一節は勉学に励むことをⅡ ことにとたえて、一歩一歩高みを目指すことの大切さを述べています。

「光景開く」と同様のことをヘレン・ケラーも述べています。《X》頂上へ向かう一歩一歩で、学問における自分の視野が広がり、最終的には「頂上に到達」する、つまり、Ⅲ ことができるのです。

私は、物事を成し遂げるのに近道はないのだということを忘れず、着実に前進したいと思っています。

(1) Ⅰ に当てはまることわざとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 習うより慣れよ イ 鉄は熱いうちに打て
ウ 学問に王道なし エ 好きこそ物の上手なれ

(2) Ⅱ に当てはまる言葉を、漢詩を踏まえて、五字以内で書きなさい。

(3) ゆみさんはスピーチの際に、【原稿】の《X》の部分で次の【資料】を示した。Ⅲ に当てはまる言葉を、【資料】中の言葉を使って、八字以上十字以内で書きなさい。

【資料】

真の知識を手に入れた人は誰でも、険しい山をひとりて登らなければならぬ。頂上へは楽な道などない。

（中略）

ついに広がる地平線が見えはじめた。苦しんだ一歩一歩が勝利なのだ。もうひと踏ん張りすれば、輝く雲に、青空の深みに、そして夢見ていた頂上に到達できる……。

（小倉慶郎訳「奇跡の人ヘレン・ケラー自伝」から）

……一部省略等がある。

【五】 中学三年生のさとしさんは、「食」をテーマに調べ学習を行った。次の問一、問二に答えなさい。なお、答えに字数制限がある場合は、句読点や「」などの記号も一字と数えなさい。

問一 次は、さとしさんが興味を持った【新聞記事】である。これを読んで、後の(1)、(2)に答えなさい。

【新聞記事】

スーパーの店頭で、バターの商品と値上がりが目立ってきた。
ことによって、原料の生乳が不足しているためだ。農林水産省は酪農家を守るためバターの輸入を規制しており、十分な量が出回るには時間がかかりそうだ。

23日、東京都のスーパーでは200〜400円台のバターが品切れになっていた。34歳の主婦は、価格が2倍以上の高級バターを手にとったが、棚に戻した。この店では1週間ほど前から、品薄が目立つ。バターは国産がほとんどで、メーカー各社が持つ在庫は、昨年8月より3割少ない(農水省調べ)。国内消費量の3カ月分を割り、23年ぶりの低い水準だ。

バター品薄 嘆く食卓

バター、なぜ品薄に？

1 原料となる生乳が足りない



・価格が安い ・高値で売れる

3 輸入量をすぐに増やせない

- ・酪農家を守るため、輸入量は国が調整
- ・民間が輸入した商品は、高関税で割高

酪農家減り原料不足

品薄になり値上がりするのは、乳製品の原料になる生乳の生産量が減り、価格が上がっているからだ。

生乳の生産量は14年度は、この20年では最低となり、ピーク時から15%落ち込む見通し。生乳は、より高く売れる牛乳に優先的にまわるため、バター向けは不足しやすい。

生産量減の背景には、酪農家が大きく減っていることがある。北海道の農業協同組合中央会の調査では、離農の理由に「安い海外産乳製品が入ってくる不安」

「輸入に頼るえさの高騰」などが挙げられた。

ふつう、国産が不足すれば海外産を民間企業が輸入して補うが、バターには高関税をかけて事実上、民間が自由に輸入できないようにして、不足分は国が調整する。

14年度は5月に7千ト、9月に3千トの緊急輸入を決めた。計1万トは国内消費の1・5カ月分にあたるが、それでも品不足に追いつかない。乳業界では品薄が15年度も続くとみている。

(「朝日新聞 2014年10月24日付朝刊」より作成)

(1) この【新聞記事】には「バター品薄 嘆く食卓」の見出しが付けられている。この見出しの特徴を説明したものとして最も適当なものを、次のア〜エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

- ア 記事に書かれた事実について、読み手の関心が高まるように、読み手の生活と無縁ではないことを端的に表現している。
- イ 記事に書かれた事実について、読み手が自分の生活を顧みる契機とするために、読み手に訴えかける表現を用いている。
- ウ 記事に書かれた事実について、書き手の感想が読み手に伝わるように、心に残りやすい比喩を巧みに用いて書いている。
- エ 記事に書かれた事実について、書き手が抱える深い悩みが一目で分かるように、具体的な言葉で調子よく表現している。

(2) 〆に当てはまる言葉を、【新聞記事】中の言葉を使って、三十五字以上四十字以内で書きなさい。

問二 さとしさんは、大分県のホームページなどを調べ、食育に関するかるたを見付けた。その中から気に入ったものとして次の三つの【かるた】A～Cを選んだ。これらの【かるた】について、あなたはどのように思うか。A～Cのうちから一つ選び、選んだ【かるた】の読み札の〈表現の特徴とその効果〉と〈内容〉についてのあなたの考えを、後の【条件】に従って書きなさい。

【かるた】

A

にほんいち
おおいたじまんの
かぼすとしいたけ

B

すききらい
いつかはきつと
たべられる

C

いえたかえ
(言) いただきますと
ごちそうさま



(大分県「食育かるた」から)



(佐伯市「さいきつず食育かるた」から)



(宇佐市「うさ食育いろはカルタ」から)

条件

- ・前半には、選んだ【かるた】の読み札の〈表現の特徴とその効果〉について書きなさい。その際、どれを選んだか分かるようにA～Cの記号を用いて書くとともに、表現の特徴については、他の二つには見られないものを取り上げること。
- ・後半には、選んだ【かるた】の〈内容〉について、「食」に関する自分の考えを具体的に書くこと。
- ・常体(「だ・である」)で、八十字以上百二十字以内で書くこと。
- ・本文を一行目の一マス目から書き始め、行は改めないこと。